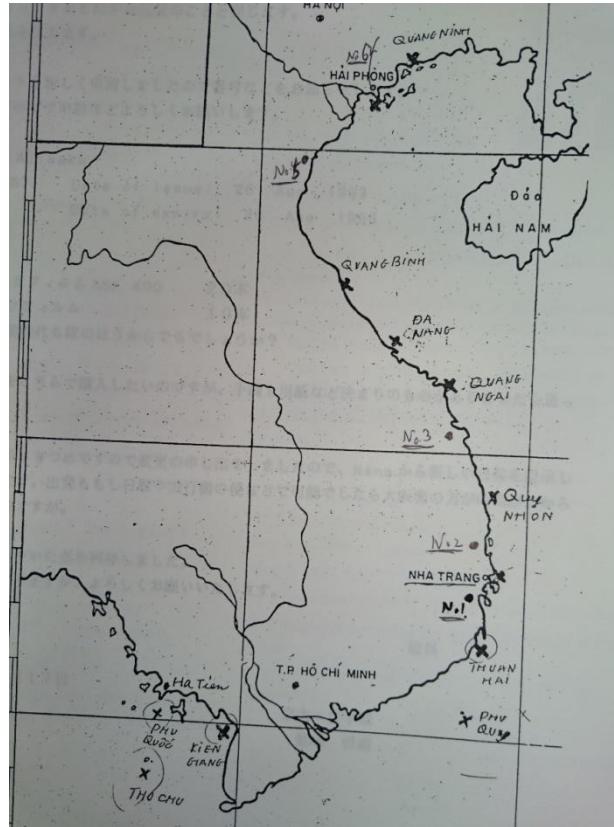


実録ベトナムの1990年代から2017年



1993年2月と1994年2月にベトナム沿岸を踏査

1993年1月と1994年1月の期間、ベトナム沿岸の海藻資源調査と養殖開発試験が、1か月にわたり、南ベトナムと北ベトナムの全沿岸を自動車キャラバン隊を編成して、行われた。

それから25年たった2017年に、ナチャンで海藻資源10か年10倍の増大計画があり、そのワークショップに参加したので報告する。



農村に向かうトラック・乗用車兼用



自動車がない頃のホーチミン市内大通り



'89 1 7

主要幹線道路・中央分離線がどこでもない



調査隊の定宿・サイゴンホテル国際ホテル



調査隊とドライバー集合写真



このワゴン車で1か月キャラバン調査



よく故障するが、なおるのが、不思議であった



女子高校生は、全国共通の白のアオザイ



市場には何でもあるが、スリも多い。1000円で手に持てないほどの現地札が渡された。札はナップザックに入れて、切られて取られた。



調査の拠点国立材料研究所・1階はレストラン



天秤で、海藻種苗の重量を測量した



沿岸での採集や移動はこの船で行った



街では、自転車と軽オートバイが移動手段
自動車がないのに気づくだろう



中国との国境の街、大型トラックの列、
私設両替店で中国元とベトナム紙幣と交換



夕食の料理が一番の楽しみであった。
食中毒に注意して、きれいなレストランを選んだ
が安い



ホテルの従業員、白いアオザイをきている



ホテルの従業員の多くは美人揃いであった

・ベトナム



ベトナム戦争の激戦地メコンデルタ地帯
カントー(メコン川)

2017年3月 ハノイのホテルの従業員



ハノイの新開発ビジネス・官庁街 旧市街地と離れて作られた



講演会場にて



ナチャン海岸の屋外コーヒーショップ 観光客はロシア人と中国人



ナチャンの海岸道路分離交通
まだ、オートバイが多かった。自転車はない



ナチャンの海岸 波があり泳いでいない



ナチャンの海岸の高層観光ビル群



ナチャンの町並み(空港での写真・少し古い)





1993年2月海からみたナチャンの海岸

かつて調査拠点にした研究所



研究室



かつてのカウンターパートの自宅にて



かってのカンターパートDr. Nang



彼の自宅まえで





ファミリーマートの海苔スナック売り場

ベトナムの現在は日本の1980年代
の活力をみる思いであった。

40年後は、今の日本になるだろう。
なぜなら、ベトナム戦争後のベビーブーム
の赤ん坊達が現在を支え、後に高齢者の
時代が来ると、予測されている。